

## 令和元年度第3回南三陸町環境審議会 会議録

1 日 時 令和2年2月21日（金） 午後1時30分から午後3時10分まで

2 場 所 南三陸町役場 3階会議室

3 出席者

(1) 南三陸町環境審議会委員（10名）

鈴木 卓也委員、阿部 拓三委員、佐々木 隆一委員、阿部 新委員  
久保田 正男委員、阿部 正巳委員、後藤 陸男委員、橋本 富士夫委員  
佐藤 ふく子委員、工藤 真弓委員

(2) 事務局（4名）

環境対策課：佐藤 孝志、山内 徳雄、高橋 智哉  
農林水産課：阿部 大輔

(3) 傍聴人

なし

4 欠席者（5名）

阿部 富士夫会長、佐々木 正司委員、及川 吉則委員  
斎藤 左恵子委員、小野 政道委員

5 会議の公開

委員の同意により、公開となる。

6 開会

7 副会長挨拶（諸般の事情により会長欠席のため）

8 会議成立の確認

・南三陸町環境基本条例第28条第2項の規定により、委員の過半数が出席していることから会議の成立を確認。

9 事務局による進行等説明

これまでの審議会で各種施策目標の分野1から5に紐づく個別事業の内容について予算額を含め説明を行った。前回の資料で、個別事業について事務局から評価指標として適当なものを○印、不適当なものを×印、判断できなかったものを空欄とした。空欄の箇所について話し合いをして、林道事業に関して林道をもっと整備してほしいという意見があったため○印をした。その他の事業に関しては判断が難しいということで暫定的に×とした。

また、前回の審議会の際、2点ほどご提案があった。その1つが阿部 拓三委員から提

案いただいたボランティアによる清掃活動である。環境基本計画に町民等の自発的な環境美化活動を奨励、啓発すると記載してある。これを啓発するためにどうしていくか考えなくてはならない。例えば海岸清掃、道路の清掃活動などボランティアを募って企画した方がいいのではないか。このような活動を年に何回か行うことを目標として掲げ、令和7年度まで回数を少しずつ増やすことは一つの有効な手段であり、わかりやすく町のPRにもなる。花の植栽活動に加えて清掃活動を何回まで実施するということにすればいいのではないかという提案だった。

2つ目は橋本委員から提案のあった林道整備事業についてである。台風19号で林道が流されたり掘られたりするなど車が通ることができないほど傷んでしまっている。せめて軽トラックが入れるように整備してほしいという意見だった。この2点についてはこの後分野ごとの説明の際、ご相談をさせていただきたい。

続いて、本日提出をした資料の説明をする。今回の資料はこれまでの審議会のお話を含め個別事業を持つ担当課と環境対策課で協議をして取りまとめたものになる。当然、今回提出した資料が決定というわけではなく、まだ委員の皆様から承諾を得た訳でもありませんので、これとは違ったご提案、追加等も可能と考えている。評価指標として掲げた項目についてはこの後一つ一つ簡単に説明をする。

次に本日の進行については、これまでに個別事業を説明したように評価の説明を行う。ただし、分野ごとの評価指標の中に前回、前々回の個別事業と重なる部分が出てくるので、かいつまみながら簡単に説明をする。一旦、分野の説明が終わったらその項目に対して質問を受ける。その後、事務局が提案した内容に対する意見を委員の皆様から頂きたいと思う。例えば同じ内容のものは1つにしたらいいいのではないかと等意見を頂戴したい。

各分野、各基本施策に掲げる項目数に決まりはありませんが事務局としては当初4項目ほどでいいのではないかと考えていた。ただ皆様が見て、もっとあってもいいのではないかとということであればある程度増やしてもいいと思う。もし仮に4項目ない場合は、仕方がないと思う。

## 10 質疑応答・意見

副会長	事務局からこれまでの振り返りと資料の説明がありました。委員から何か質問はあるか
委員	評価指標については、現在精査中ということによろしいのか。
事務局	基準値については、現在再確認をしているところ。ただ、評価指標が決定すればH28の基準値を確定させる予定。
議長	他に質問等はあるか。 (「なし」の声あり)  ないようなので分野1 自然環境について事務局から説明をお願いします。 (説明終了) 何か質問等はあるか。

<p>委員</p>	<p>4 森林経営計画推進支援事業、7 林道整備事業他市町村について、他市町村と連合で進めていかないとできなくなっているのが現実。機械化されていくと機械が不足し、機会を集めるのに大変な金額が必要になってくる。</p> <p>松くい虫に関しても、県に予防をできる限り早く予防対策をするよう要望をしているが面積が大きくなかなか要望通りにはいかない。三陸道で入谷を通ってもらうと若い木にも被害が進んできていることがわかる。さらに、猿などの動物の被害も出てきている。猟をする人たちが高齢化してきていることで捕獲にも至らない、射殺にも至らないのが現状であり、自然には逆らえないと感じる。もう少し真剣に考えてもらわないと自然が壊れてしまう。</p> <p>松林病虫害伐倒事業の対象は、神割崎だけとみているのか、一般の山をみているのか。</p> <p>理屈、書面では理解している。理想を現実で進められるのかが大切。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の施策の目標としている事業の評価の部分で、現在の状況を含めて説明したい。1番目の間伐面積に関しては林業整備にもつながりますが、いずれ間伐を推進するためには、道路を整備しなくてはならない。間伐が進むにつれ必然的に道路も整備されていく状況もあるので林道整備事業は今回掲載せず、間伐の面積という部分で森林整備の推進状況をもって環境維持が図られるので目標設定として数値化をした。</p> <p>松くい虫防除につきまして、10年ほど前までは病虫害でしたので全国的に被害蔓延を防止するために町内各所で防除を実施していた。薬剤散布等で拡大を防ぐことは難しく国の方で大きくシフトしたのが守るべき松林ということで一部の保全する松林を指定して、指定した松林だけは確実に防除するというやり方である。現在の尾崎、神割崎の2か所を重点的に実施している。懸念されている内陸部の被害は、間伐の推進、林道の整備等によって町内の各所で整備が始まり伐採が進んでくれば環境整備も自ずと進んでくると担当としては考えている。計画的な森林の管理をする意味での計画だが、計画があれば各種所有者の方を横断的につなぐ道路などを推進することによって林道の整備が進むので、管理できる面積を増やすことが森林整備の推進につながると考えている。</p> <p>続いて、農地に関して指標に二ホンジカの捕獲頭数として挙げているが、これは頭数を増やす目標値でいいのかという意見もあると思う。本来であれば被害件数を抑える等が目標になるかと思うが、現在の南三陸町の場合だと H28 から有害鳥獣自治体ということで町の方で対応しながら処理を進めているが、右肩上がりに被害が増えていることに加え今年度、イノシシが被害をもたらしている。全体量が1,000頭いけば100頭捕獲することで10パーセント抑えるという目標を掲げることができるが現在、増加している状況であるので捕獲できる体制整備が一つ重要な課題となっている。ある程度の目標として100頭と記載があるが、</p>

	<p>来年頭数が爆発的に増えれば目標として200頭としないと現在の環境を維持できない。それを踏まえた目標値として考えていただけたらと思う。</p> <p>耕作放棄地に関しては、震災後なかなか普及事業もあって耕作したくてもできない農地もあったので現状調査がされていなかった。今年度から入谷地区を中心に調査を実施していき基準値の方も順次図れるようになる。非常に重要な数値になるので改めて目標施策に挙げるべきだと考えている。</p>
委員	<p>FSC 認証事業について、指標が面積となっており、基準値と目標値がある。町の中で76.2%が森林ということ踏まえてのことだと思うが、基準値1,525haは全体の面積がどのくらいか示さないとこの面積が多いのか少ないかわからない。全体の中の何割、何%と示すまたは絵を用いるなどした方がイメージしやすいし子供にも教えることができる。地元の人でも町の森林の面積を理解しているわけではない。</p>
事務局	<p>委員の要望を受け入れ資料中に分母なるものを入れたいと思う。</p>
議長	<p>その他で何かあるか。  （「なし」の声あり）  ないようなので分野2 生活環境に移る。事務局から説明をお願いします。  （説明終了）  ただいまの説明に対して質問がある方はいるか。</p>
委員	<p>河川における BOD の達成率について類型設定されている八幡川以外にも B 類型にすると説明があったが、以前いただいた環境白書では A 類型に設定されている。この辺は整合性をとってほしい。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり環境白書の方では伊里前、水戸辺川については A 類型と示しているので、環境白書に合わせて適用するようにする。</p>
議長	<p>私からも一つ質問をする。海域における COD の環境基準達成率について、指標の説明で0 mの COD 値となっているが阿部 拓三委員は海の専門家としてどのように考えるか。海の健全さを図る場合は底質も重要になってくる。現在調査していないとしてもしっかりとモニタリングをしていこうとしているのであれば、予算をかけてやってもいいのではないか。</p>
委員	<p>5 m、10 m、20 mといった各水深を調査するとなると膨大な労力、お金がかかる。例えば、カキ養殖場の水質を調査するという場合であれば底質も重要になってくる。しかし、海という広い環境を目安として調査する場合は表層を調査するのが一般的である。より力を入れて調査する場合は、各水深を立体的に見る必要がある。現在、COD を測る時の目的があると思うのだが、それをモニタリングしようとする表層だけでもかなりの労力になるので仕方ない。数値に問題があった場合に深く調</p>

	<p>査すればいい。志津川湾内11か所の調査実施を広く見ることが目的ではないかと思う。</p>
委員	<p>一般的に水産試験場でやっている検査ということで、阿部 拓三委員が話すとおり深く分析をする必要はないので広くどういう状況にあるかを理解していくことが大切だと思う。深くやればやっただけいいと思うが、現在のやり方で私はいいと思う。</p>
議長	<p>ありがとうございます。他に質問等はあるか。</p>
委員	<p>16 海域における COD の環境基準達成率、17 生活排水処理率に該当するかわからないが、海の生態系の件である。去年と比べて生活排水か一部の声だとコクガンの被害による影響と聞くが海藻が全然取れない。去年までは取れていたが一部の漁師からは水鳥の海藻を食べる量がすごいという声が出ている。ラムサール条約湿地に登録されたことは素晴らしいことだが、いいところがあれば悪いところが出てくる。これは水質の問題なのか鳥獣の問題なのかこの辺をもう少し研究してもらいたい。</p>
議長	<p>具体的にどのような海藻に被害があるのか。</p>
委員	<p>布海苔やマツ藻は戸倉から歌津まで全滅である。</p>
委員	<p>コクガンはアマ藻を食べると聞くが、布海苔やマツ藻も食べるのか。</p>
委員	<p>コクガンに関しては、アマ藻とアオサの仲間を食べると言われている。</p>
議長	<p>ネイチャーセンターで、糞の中にどのような海藻が含まれているのか調査しているが、人が利用する布海苔やマツ藻を食べるかと言われるとコクガンに関してはないと思う。</p>
委員	<p>マツ藻、布海苔は冷たい海に生える海藻である。私はいつも海に潜っているが近年、冬の水温が下がらず、水温が高い状態が続いている。冬であるにも関わらず熱帯魚が多くいたりする。特に冷たい海に特徴的な海藻が見られないということは、温度の影響が大きいのではないかと考える。布海苔は、成長を始めるのが12月、1月の時期だが今年は水温が下がらなかった。</p>
委員	<p>水温が高すぎるのではないか。南の方で獲れていた魚が近年、太刀魚であったり、真鯛が定置網に入ったり、あまり南三陸で見られないカサゴが釣れるなど南から暖かい水温を好む魚が増えてきている。海流や水温にかなり影響されてきているのではないか。</p>
委員	<p>山に雪が降って冷たい水が流れていかないと状況は変わらない。今は、温暖化が進んで雪がなく海藻の伸びも悪い。海藻の獲れる時期、開口は大体今くらいなのか。</p>
委員	<p>戸倉の開口は終了した。手がしびれるくらい冷たいと海藻の育ちが良い。</p>

委員	温暖化もだいぶ進んできている。週間予報を見てもマイナスがなく、2桁が多くなってきた。
議長	町だけで解決できる部分と町だけでは解決できない部分があるので、そこはより考えていかななくてはならない。他に何かあるか。
委員	19 アダプトプログラムと21 ボランティア清掃活動について震災前は公園などを清掃するグループがあって上の山公園さわやかサポートの看板がある。町の中にいくつかあるのだと思うが、現在その方々は活動をしていないのか。
事務局	活動はしていない。
委員	<p>今後5年後の目標団体数が3団体となっているが、町の中を見ると、例えばウジェスーパー向かいの国道45号線沿いの山際にごみが溜まっている。あまりにひどいときは友人と2人で清掃をし、3袋ぐらいごみを回収する。時々ダイユーエイトの値段ラベルが飛ばされていて店員の方々が片付けているのを見かける。公道は誰のものでもないでなかなか清掃をするまでに至らない。町の中にごみが多くあると、観光客に対して恥ずかしい。清掃活動をしているが個人の方だけできれいにするのは難しいので、アダプトプログラムに登録する団体が年に1団体ずつ増えて5年後に5団体になれば安心できる。そう考えると3団体では少ないと感じる。</p> <p>もう1つ、ボランティア清掃活動の内容で、ボランティアに頼むとなると誰が件数をカウントするのか、周知はどうするのが難しくなってくるのでアダプトプログラムと合わせて積極的に推進の声掛けをしなければならない問題ではないか。店の方々に対して時々町の方から道路清掃に協力いただけるよう発信していただけることも解決の1つだと思う。桶があったり、段ボールが散乱していたりする。風によりごみが集まっているようだ。多くのごみを無くすためにも目標を立てる必要があると感じた。</p>
委員	21 ボランティア清掃活動の事業名としては環境美化活動の推進と同じ枠に入るのではないかと思う。
委員	アダプト登録した特典としてクリーンセンターに持ち込むと無料になるとか、ごみ袋3個ぐらいはクリーンセンターに行かなくて済むと思うが、
委員	回収したごみをクリーンセンターに持ち込むと無料なのは良いが、そんなに大きいゴミではなく細かいごみが袋3つほどで収まるのでクリーンセンターに行かないで済む場合もある。看板を立てる必要があるのかどうかかわからないが、工夫して楽しくごみ拾いが出来る仕掛けを考えていくと団体も増えるかなと思う。
委員	奨励、啓発をどうするかが求められると思う。
委員	前回の審議会でも話をしたが、工事が終わらないと活動できない。震災前は、私達も看板をいただき名称を入れ歌津駅に設置し活動していた。

	<p>震災後は、活動できなかつたが今考えると、工事が終了し国道45号、防潮堤の工事が終了したら、アダプトプログラムを活動内容の中に取り組んでもいいなということのを会の中で毎回話している。今年はこちら、次の年はここと歌津地区全体の地区の清掃活動を取り組んでもいいと思う。震災前は、朝5時とか6時から清掃活動をしていた。</p> <p>21 ボランティア清掃活動を19 アダプトプログラムと合わせていいと感じる。団体数の方も3団体と決めないで団体が増えただけ町がきれいになるので何団体でもいいことにすればいい。</p>
委員	<p>環境を謳っている町であるのにごみが多くある。年に1、2回の活動では全然足りないので毎月やるような動きになるといい。</p>
委員	<p>歌津のグリーンロードに捨てられているごみの量が多い。車を止めて捨てるのが難しい。定期的にごみ拾いをしている人が一人いる。</p>
委員	<p>歌津はまだいい方だが本吉町側になると非常にごみが多い。先日、実際に行ってみて驚いた。地区の人たちが中心となって拾わないといけない。捨てているのは地区内の人が多いと思われ、地区の人達が捨てることで捨てるなくなる。当初私が衛生組合長だった時に、行政区でごみ拾いを実施したところ半減した。各世帯何人か参加することで激減する。名足保育園付近の道路もすごい不法投棄が多い。</p>
委員	<p>最近は見かけなくなったが、国道45号線に赤いお宮が駐車場やパーキングにあり一時的にごみが減った。</p>
委員	<p>細浦のあたりに多くあった。</p>
議長	<p>担当課としてはどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>ただいまのアダプトプログラム、ボランティア清掃活動の件でアダプトプログラム登録に関しては、年に1回広報で周知をしている。震災から9年の月日が経っている。今後、環境にも力を入れなければならない。次年度以降、公民館と連携して婦人団体、各種団体の方々に声がけをするなど登録数を増やしたい。</p> <p>アダプトプログラムとボランティア清掃活動を合わせてもいいのではないかという意見は、委員皆様が同意をされるのであれば環境対策課の方で窓口となり、件数をカウントしながら進める。</p>
議長	<p>他に何かないでしょうか。  （「なし」の声あり）  ないようですので、分野3 循環型社会について事務局から説明をお願いします。  （説明終了）  ただいまの説明に対して質問、意見等はあるか。</p>
委員	<p>生ごみ収集量の目標値が記載されていないのはなぜなのか。</p>
事務局	<p>今回は評価指標を優先的に決めるということで令和7年度目標値は検討中である。理想は高い数値だが、計画を立てた時の説明が困難になるこ</p>

	とから数値を示せずにいる。
議長	先ほどパーセンテージの話が出たが、人口に対して住民一人ひとりがどのくらい出しているのかそういう指標の方が、将来人口が変動してもわかりやすいのではないか。
委員	出来ないから掲げないというより、細かい目標でなくてもいいので何%とかあった方が良く。
議長	先ほど事務局から説明のあった最終処分量について意見等はあるか。
委員	最終処分のごみの焼却量で南三陸町は焼却しないので出した量はわからないものなのか。
事務局	灰の量はわかる。焼却灰量については、例えば燃やしたごみが100トンだったとする。そのうち7割が気仙沼、3割が南三陸だった場合、出た灰もそのように案分するため灰の量を知ることができる。
議長	ごみの排出量があれば焼却量はなくてもいいのではないかと思います。
事務局	26 最終処分量について項目としてはいらないのではないかとということか。
委員	個人的な意見である。
委員	26 最終処分量の目標値のイメージは半分を目指すということによろしいのか。
事務局	半分を目指している。ただ、燃やすごみ、運ぶごみを半分にすれば自然に灰も少なくなるということ。一人一日当たりのごみの排出量と町内におけるごみ排出量など個別事業の中にはリンクするものがある。ある意味、見方が変わっているので二重計上ではないが片方はいらないのではないかとというとらえ方もできる。
議長	23 町内におけるごみ排出量の目標値について焼却灰の目標値が半分に対しそんなに減っていないと感じる。
事務局	リサイクルも含まれるので一概に読み切れない。
議長	23 町内におけるごみ排出量と24 一人一日当たりのごみの排出量で目標値を定めるのであれば26 最終処分量はダブルカウントのようで余計な手間にも感じる。 事務局、この場で指標となる事業を決めた方が良くないか。
事務局	決めてもいいが、同じような事業は分野1 自然環境の中にもあると思う。いずれ最初から通して見直しをしなくてはならない。そのことを頭に入れて次に進むのも一つだと思う。
議長	分野3 循環型社会について他に意見等ないか。 （「なし」の声あり） ないようなので分野4 温暖化対策の説明を事務局からお願いします。 （説明終了） ただいまの説明に対して質問、意見等あるか。



委員	28 魚市場電動フォークリフト導入台数を増やすというのはなぜ地球温暖化対策の推進につながるのか。
事務局	フォークリフトを電動化することでガソリンなどの化石燃料を使用しないためである。
議長	電動のものをカウントするのであれば町の公用車の電動化するのでもいいのではないか。
事務局	現在、PHV ということで1台入っている。公用車をPHVにすることは当然、多大なお金が伴うためこの場で約束はできない。そのため資料中に公用車の件を提案することができなかった。内部で検討し、財政から許しが出れば掲載するもの1つではないかと思う。
議長	他に質問等はあるか。 (「なし」の声あり) 今の話からすると27 町の事務事業から排出される温室効果ガスの削減効果の中に色々な項目が入ってくるのではないかと感じた。 続いて、分野5 環境教育・人材育成について事務局から説明をお願いします。 (説明終了) ただいまの説明に対して質問、意見等あるか。  1つよろしいか。33 イヌワシ生息環境再生フォーラム参加者数についてだが、これは町の方にもご協力いただいてやっているものだが、35 いのちめぐる紙芝居もそうだが、分野5に当てはまると町の方で認めたものに関してはまとめて全体の回数、人数でもいいのかなと思った。資料を見て驚いた。
事務局	今一度どういったことなのか。
議長	これは民間でやっているフォーラムや上演会であるのでそういったものは民間の活動としてどのくらいの回数、どのくらいの人数といった求め方で目標を立てるのはどうかということ。
事務局	主催者が民間だと、なかなか町で回数を把握することができない。そのため、一つにまとめるのは簡単にできそうで難しく、漏れが出てくるのではないかと思う。
議長	町が共催に入っているイベントに関して数字をまとめるといったことか。
事務局	把握できないと何とも言えないので、一旦内部で検討してみたいと思う。
委員	とりあえず民間サイドでどのようなことをしているのか把握することが重要だと思う。
委員	質問よろしいか。 32 活用センター利用者数についてこちらは農林水産課と打合せをして目標値を設定したのか。

事務局	農林水産課と打合せをし、設定した。
委員	先ほど出たフォーラムの参加者を含めてだが活用センターは調査・研究をベースにしたもので、例えばビジターセンターのように広く一元様も対応できるような展示施設ではなく深い学びを提供する場所で、単に人数を目標値として設定するのは無理があるのではないかと思います。一応施設を改修するときには大体の利用人数の目標を設定しているがそれがそのまま環境政策の目標になるかという点と違うと感じる。同様にフォーラムの参加者数の件もそう思う。
議長	当会でやっている色々な事業のなかの一つがフォーラムである。他にも多くの事業がある。もし数値として酌んでいただければ打合せをしてからの方が良いと思う。
事務局	今、フォーラム等の話が挙がり、見返してみると町が主体となる事業を評価指標として挙げるべきだと思ったのでその辺について内部で検討をする。なお、活用センターについても今一度内容を確認する。
委員	35 いのちめぐる紙芝居に関しては、回数が少ないといった不満はない。 担当が農林水産課となっているが環境対策課ではないか。
事務局	環境対策課に訂正をする。
議長	補足だが、民間で色々な活動が最近活発になってきているのでそういった動きを町の方で把握しておくことも十分意味のあることだと思う。  最後に分野1～5の全体を通して付け足したいところなどはあるか。
委員	R7の目標値、H28年度の基準値になっているので中間をどのようにしていくかが計画を進めるうえで重要なのではないかと思います。その辺も踏まえて最新の状況が全体的にあるともっとわかりやすいのではないかと。2、3年前のデータになると中間地点外になってしまうのかなと思う。その辺がわかると計画まで行けそうかなと感じた。
議長	他にあるか 事務局から補足等あるか。
事務局	ただいま、久保田委員から中間地点の数値がわかればとの話だったので、毎年各数値を委員さん方に示したいと思う。 今後の予定は年度末、年度初めと皆様お忙しいと思いますので会長と相談ながら日程調整し、決定したら通知を出す。 なお、次回の資料については本日提出した資料で見え消しになっている部分をさらに整理して詰めていく。例えば11、12の液肥の部分で見れば用途、人数の2通りあるので今一度考えて話し合いをし、完成に向けて進めていくので協力方よろしく願います。 また、冒頭にもお話をしたが資料1ということでカラー刷りの生ごみ分別回収に関するアンケート調査を皆様に差し上げますので細部について

	ご覧いただきたい。
議長	これをもちまして第3回環境審議会を閉会する。

1 1 閉会